

# 海水資源・環境シンポジウム 2018

URL : <http://www.swsj.org/research/research-06.html>

- 主催：日本海水学会 海水資源・環境研究会  
共催：(公財) ソルト・サイエンス研究財団  
協賛：(一社) エネルギー・資源学会, (公社) 化学工学会, (公社) 環境科学会, (一社) 軽金属学会,  
(一社) 資源・素材学会, (公社) 石油学会, (一財) 造水促進センター, (一社) 日本エネルギー学会,  
日本海水学会 若手会, 日本脱塩協会, (一社) 日本粉体工業技術協会 晶析分科会,  
(一社) 日本マグネシウム協会, (公社) 日本水環境学会, 分離技術会 (いずれも予定)
- 日時：2018年5月11日(金) 13:30~17:10  
シンポジウム終了後、技術交流会を開催いたします。
- 場所：千葉工業大学津田沼キャンパス 7号館 4F 7404 教室  
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2-17-1  
JR総武線/津田沼駅(南口)下車 徒歩1分  
京成線/京成津田沼駅下車 徒歩15分  
新京成線/新津田沼駅下車 徒歩3分  
<http://www.it-chiba.ac.jp/institute/access/tsudanuma.html>  
◇次ページのアクセスマップを参照ください◇

概要：

開会挨拶と連絡事項

(13:30~13:40)

海水資源・環境研究会 代表 尾上 薫

[1] NEDOにおける海洋再生可能エネルギーの取組について  
国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

(13:40~14:30)

新エネルギー部 風力・海洋グループ 統括調査員 伊藤 正治 氏

[2] 自動車の軽量化と金属マグネシウムの適用 (仮)

(14:30~15:20)

一般社団法人 日本マグネシウム協会 専務理事 小原 久 氏

< 休 憩 (15:20~15:30) >

[3] 海洋温度差発電の最新動向とエネルギー利用の可能性

(15:30~16:20)

佐賀大学 海洋エネルギー研究センター 助教 安永 健 氏

[4] 石油・天然ガス生産における随伴水処理技術の課題と今後の展望

(16:20~17:10)

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構

技術ソリューション事業グループ 技術開発チーム (併) 技術部 開発技術課 担当調査役 川村 和幸 氏

技術交流会 (17:20~18:30) [3号館食堂2F]

参加費：一般 4,000円, 学生 2,000円

申込方法：氏名, 所属, 連絡先(住所, 電話番号, E-mail) を以下の申込先にE-mail等でご連絡下さい。

申込・問合せ先：〒256-0816 神奈川県小田原市酒匂4-13-20

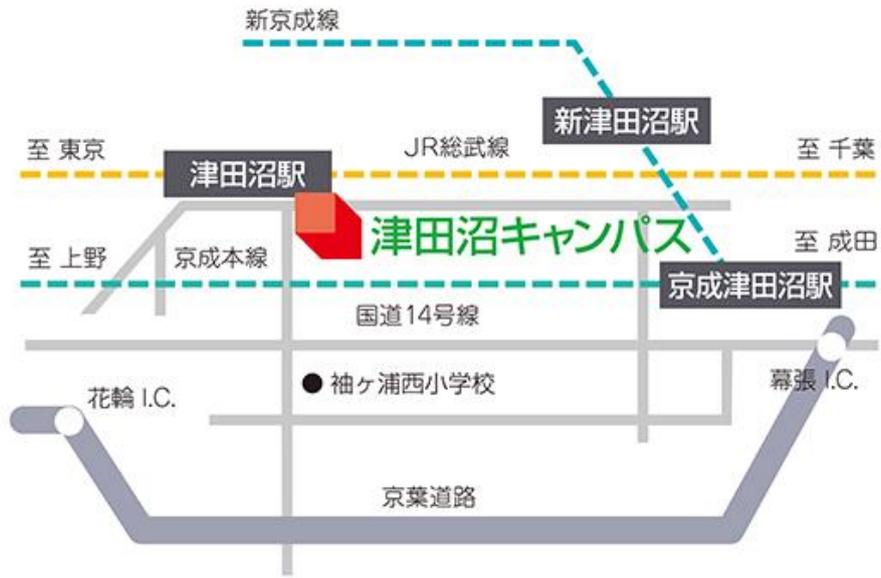
公益財団法人塩事業センター海水総合研究所 (担当：加留部, 邑上)

E-mail: [shigen@swsj.org](mailto:shigen@swsj.org), Tel: 0465-47-3161

申込締切：5月7日 (月)

当日の問合せ先：080-5945-1990 邑上 (むらかみ)

### 千葉工業大学津田沼キャンパスアクセスマップ



### 千葉工業大学津田沼キャンパス内マップ

